

令和6年度の教育活動等に対する学校評価書

学校法人静岡聖母学園 幼稚園  
園長 木林薫子  
幼稚園 学校関係者評価委員会  
委員長 二村千春

1 幼稚園の教育目標

神に愛されていることを感じ、心豊かで逞しい子、思いやりのある子  
重点目標:神の愛を感じ、分かち合いが出来、意欲を持って物事に向かいよく考えて行動出来る子どもの育成  
一、教師や友だちとの出会いから、自分の存在に気付く事によって他人の気持ちが分かり、一緒に出来るようになる。  
一、親や他人に依存している状態から、自立して自分で考えて行動出来るようになる。  
一、衝動的、断片的な行動の傾向から、次第に思考力、判断力を持った行動がとれるようになる。

2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

・新園舎となり、初めての一年ということで、環境設定を検討しながら改めて行事の在り方、見直しを図る。  
・今年度はECEQ=公開保育を活用した幼児教育の質の向上システム(Early Childhood Education Quality System)に参加し一年間に渡り職員研修により学びを深める。  
・SNSやコードモンアプリを活用しながら近隣の地域の交流を図り、また保護者への発信もし、開かれた園となるように心掛ける。

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価

評価項目	自己評価(令和 7年 2月 3日)		学校関係者評価(令和 7年 2月 27日)		
	評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評価・意見	
教育内容	1 理念・方針	B	キリスト教保育の在り方を日々学んでいる	B	
	2 園の課題	B	子ども主体の保育の環境設定を行う	B	
	3 行事の精選	B	新園舎となり行事の在り方見直しを図る	B	
	4 園児指導	A	一人ひとりの子どもに寄り添う保育を行う	A	
	5 免許・資格	A	園としてECEQ認定証をもらえるよう努めた	A	
	6 職員の課題	C	保育内容の精査をしていく	B	
	7 研修の企画	A	職員間でよく話し合いの機会を持った	A	
	8 環境設定	C	遊びが広がる環境設定がまだ必要	B	
子育て支援	9 未就園児	C	親子遊びの会をより充実させたい	B	
	10 在園児	A	父母の会と連携を図り子どもファーストにしている	A	
	11 児相等の連携	A	小さな事象でも速やかに相談し連携した	A	
	12 預かり保育内容	B	駿府城公園に頻繁に行った。	B	
	13 預かり保育体制	C	より充実した工夫が必要	B	
安全管理	14 施設と設備	C	ヒヤリハットを常に意識化するよう努力している。	C	安全管理に対しより一層意識を高める
	15 防犯体制	A	警察と常に連携を図っている。	A	
	16 安全衛生管理	C	看護師に頼りすぎず、自身の意識が大切	C	安全管理に対しより一層意識を高める
	17 アルルキー対応	A	保護者、看護師、調理師、担任と連携	A	
	18 防災対策	A	新園舎にて対策の見直しを図った。	A	

評価項目	自己評価(令和 7年 2月 3日)		学校関係者評価(令和 7年 2月 27日)	
	評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評価・意見
人事管理	19 労働条件明示	A		A
	20 時間外勤務	A	有給消化を出来るだけ行った。	A
	21 就業規則	A	本部指導の下行っている。	A
	22 労働者名簿	A		A
	23 自己評価	A	研修等を通し、より自己分析の力が高まった。	A
財務管理	24 予算作成	A		A
	25 決算の分析	A		A
	26 情報開示	A		A
	27 個人情報保護	A		A
	28 経理規程	A		A

※自己評価、学校関係者評価とも1~28の各評価で特筆すべき点がある場合、またはC、Dの評価点の場合はコメントを記入のこと。

評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

4 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
保育の質向上	ECEQにて外部の幼稚園のコーディネーターが入り、保育の見直しを図り、現在の問題点を出しながらも、改めて本園の良さを見つめる良い機会になった。職員の話し合いの質は高まったが、子ども主体の保育に向けての環境設定の工夫は現在進行形である。
安全管理	新園舎にて外堀側のアスレチックで骨折の怪我があり、安全対策を見直し、改めて安全な環境を見直している。セキュリティゾーンから園庭等戸外での遊び方に於いて工夫と対策を見直していきたい。
地域に開かれた園づくり	近隣の小学校と研修を開いたり、区の地域子育て研修会に参加するなど試みてはいるが、園庭開放や毎週金曜日の親子遊びの会も試みてはいるが、参加者が少ないのが現状であり、より地域に開かれた園となるよう努力していきたい。

5 自己評価、学校関係者評価の公表

●公表期間 令和 7年 3月 4日 ~ 令和 7年 4月 10日

●公表方法 学内掲示板、幼稚園ホームページによる

記入日 令和 7年 3月 3日

記入者 園長 木林薫子

